

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和7年5月発行

群馬県(前橋市)で豚熱患畜を確認！ 農場の防疫対策の再確認・徹底を！

5月9日、群馬県前橋市で豚熱の患畜（国内99例目）が確認されました（今年1月以降、群馬県4例目）。

1 発生農場 約460頭飼養

2 経過

- (1) 5月8日、農場からの死亡頭数増加の通報を受け、立入検査を実施。
- (2) 豚熱の疑いが生じ、農研機構動物衛生研究部門で精密検査。
- (3) 5月9日、豚熱の患畜と判明。



また、4月以降も近隣県で野生イノシシの陽性事例が相次いで確認されており、危険な状態が続いています。

本年4月以降の近隣県の野生イノシシ陽性事例

- ・ 岩手県：10頭（一関市7、山田町1、宮古市1、奥州市1）
- ・ 宮城県：6頭（大崎市2、白石市2、丸森町2）

今一度の徹底を！

- ・ 畜舎内への病原体持ち込み防止の徹底
- ・ 豚の異状の早期通報 【詳細は次のページに記載】

最上家畜保健衛生所
(休日・夜間も対応)

電話：0233-29-1357

1 畜舎内への病原体持ち込み防止の徹底

◇農場での人や車両の出入の際の消毒等の徹底

車両については消毒ゲートとタイヤ及びタイヤ周りの動噴による洗浄・消毒を併用。



関係者以外の農場への立入を禁止



農場（畜舎）に出入りする際の
①衣類や長靴の交換、②スノコ等の設置による交差汚染防止、③消毒の徹底。

消毒前には汚れを落とす。

踏み込み消毒は1日1回交換。



専用の手袋・靴の着用
手指や物品の消毒



畜舎周囲の消毒
消石灰散布

◇野生動物の農場への侵入防止対策の徹底

- ✓ 農場周辺における柵の設置
- ✓ 堆肥舎等への防鳥ネット設置



定期的な点検や修繕を！！

(柵まわりの草刈りも重要です)

2 家畜の異状の早期通報

◇同一の豚房内で発熱、元気消失、結膜炎等を示す豚が増加するなどの特定症状を認めた場合は必ず通報。

豚熱（CSF）の症状



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

◇特定症状が認められない場合でも「豚群において散発的だった死亡が継続的に見られるなど通常と異なる様子を認めた場合は、家畜保健衛生所に相談。